

ティラワ経済特別区へ電力を供給する
ガスタービン火力発電所 1号機、2号機建設工事受注について

住友商事株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：中村邦晴、以下「住友商事」）は、ミャンマー電力省傘下の電力公社である Myanmar Electric Power Enterprise より、ティラワ経済特区に隣接するティラワガスタービン火力発電所 1号機、2号機（発電容量 50 メガワット（25 メガワット×2 基）、以下「本発電所」）の土木据付込み一括請負工事契約を約 50 億円で受注しました。

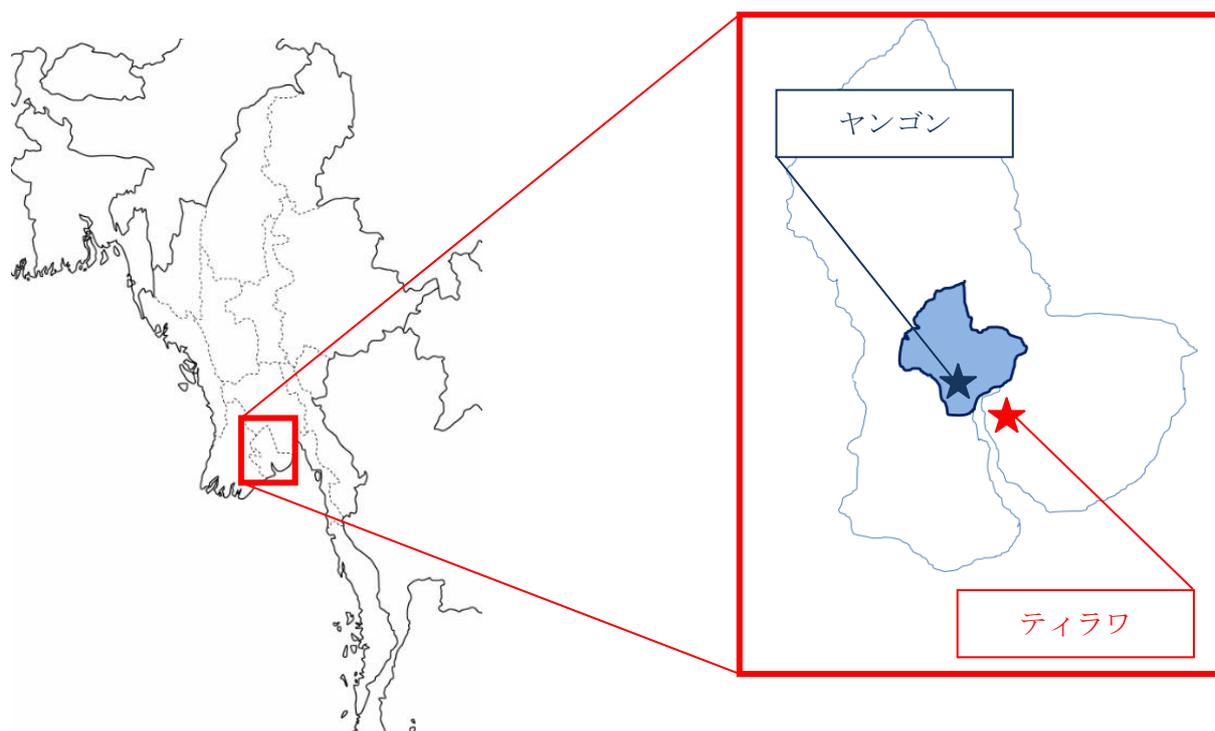
5000 万人を超える人口のミャンマーは、消費市場として高いポテンシャルがあり、良質で豊富な労働力を抱えているため、製造拠点としても競争力を有しています。民政移管を境に世界各国からの企業進出や直接投資が進んでおり、これまでの軽工業へ中心の投資が他業種へも広がりを見せています。企業が進出するうえで、安定した電力等の基礎インフラは必要不可欠です。また、ミャンマーの急速な経済発展に伴い、電力需要は 2030 年までに現在の約 5 倍になるとも言われており、早期の新規発電所建設が必要とされています。こうした状況を受け、2013 年に、国際協力機構（JICA）がミャンマー政府との間でインフラ整備支援を目的とした円借款契約を締結しており、本発電所はこの支援を受けたものです。

本発電所はティラワ経済特別区（以下「ティラワ SEZ」）の隣接地に位置し、ティラワ SEZ およびミャンマー最大の都市であるヤンゴン市への電力供給を予定しています。住友商事は、本発電所建設によりティラワ SEZ 進出企業をサポートするとともに、ミャンマーの経済発展へも貢献していきます。主要機器であるガスタービンや発電機は、三菱日立パワーシステムズ株式会社が供給し、その他の補器供給を含めた所掌を太平電業株式会社が担当します。

2015 年 2 月に着工し、1 号機は 2016 年 3 月、2 号機は 2016 年 7 月の運転開始を目指します。

住友商事はこれまで、インドネシアやベトナムといったアジア各国を中心に多数の発電所の建設に携わってきました。これまで培ってきた豊富な契約履行実績と経験を基盤に、今後もパートナーとともにミャンマーを含め世界各地での継続受注により一層注力し、経済発展への貢献を目指してまいります。

■参考資料：発電所位置



【本件に関する問い合わせ先】

住友商事株式会社 広報部 報道チーム 山脇・伊東

TEL : 03 - 5166 - 3100